

物流推進運動

14社増

サービス2社

イチロジスティクスサービス、共通運送、草水運送、トランスポート・エースアンドエースなどが提出し、計646社となった。共通運送は、既存従業員退職率を下げ、求職者からの応募を増やすために、従業員の休日確保や時間外労働の減少を推進し、育児休

止している。特積貨物は搬送数量と運賃・料金水準を改善し、営業利益も確実に増える見込みだ。

連/WebKIT4月 登録7割増 2倍以上伸び

料品

イルスの感染拡大防止で初めての緊急事態宣言が発令された。そのため、日本経済が大きく影響を受け、貨物輸送も大打撃を受けた。昨年4月の求車件数は5万4715件で、19年同月比66.1%減と大幅に減少。農産物、飲料水、砂利・砂等、建材、セメントは19年同月を7割以上下回り、ほぼ全品目がマイナスに転じた。

今年4月は昨年同月より約4万件増加。畜産品、セメント製品を除く全品目で前年を上回った。伸びが大きいのは飲料水で3倍、電気製品2.5倍、砂利・砂などと衣料・雑貨も2倍となっている。ちなみに、今年1月の稼働状況を見ると求車件数8万5299件(前年同月比1

6%減)、2月は8万9922件(1.8%増)、3月が11万5641件(2.1%増)で、昨年4月以降の求車登録件数の大幅な減少は次第に落ち着き、今年に入って平常に戻った格好だ。しかし、現在の緊急事態宣言は5月末までとなり、今月の稼働状況が注目される。(北原秀紀)

経産省 「百貨店利用」意識調査

「価格の高さ」が66.1%と多く、他業態(27.1%)や、EC(23.7%)を活用している層が一定程度存在している。

コロナ対応 基本方針改正受け 全ト協に周知要請

田村咲絵

3月27日～4月30日に追加された企業

情報・通信業 2社
グランパスコンサルティング、シナジア
卸・小売業 1社
アルバン
運輸業・郵便業 7社
アイエイチロジスティクスサービス、アウルグループ、エイチ・エル、共通運送、草水運送、トランスポート・エースアンドエース、森田産業運輸
サービス業(他に分類されないもの) 2社
エムケー・ロジテック、美翔
分類不能の産業 2社
石川県トラック協会、福井県トラック協会

卸・小売業ではアルバンが提出し、計105社となった。サービス業

そのほか、石川県トラック協会、福井県トラック協会が提出。県ト協の賛同は、静岡、愛知、三重、佐賀、鹿児島、宮崎と合わせ計8者となった。(田中信也)

暇制度の実施など働きやすい職場環境を整備。草水運送では、多様な人材が働きやすい労働環境の実現に向け、地場配送を増やすなど、育児中の女性、60代のドライバーが活躍できる労働環境を構築する、としている。

労働環境改善図る 教育ツールも整備

住むーぶ全国協議会(宮高豪理事長)は8日、オンラインによる総会を開き、事業計画と予算などを承認した。2021年度は高齢者の実態把握に努め、行政機関との関係強化を図るとともに、会員各社の労働環境改善を進め、働きがいのある職場環境の整備を目指す。また、会員のスキル向上につながる教育ツールの整備にも努める。

住むーぶ全国協議会(宮高豪理事長)は8日、オンラインによる総会を開き、事業計画と予算などを承認した。2021年度は高齢者の実態把握に努め、行政機関との関係強化を図るとともに、会員各社の労働環境改善を進め、働きがいのある職場環境の整備を目指す。また、会員のスキル向上につながる教育ツールの整備にも努める。

コロナ禍により、プロック会議を思うように開催できなかったものの、会員間では引越しまし一般貨物運送、積み下ろし作業、備車などの業務依頼が活発に行われるようになったことから、引き続き会員各社の連携強化に努めていく。なお、任期満了に伴う役員改選では、正副理事長の留任を決めた。(小菓史和)

(面担 田村咲絵)